



# 地域貢献プロジェクト 「狩留家自然の森公園」構想に協働しよう

5月24日

5月例会

～金毘羅神社周辺の眺望改善と参道整備～参加者：36名



作業を終え金毘羅神社前に集合。おつかれさまでした～！

❀ 梅雨の走りの最中、前日の予報では天気が危ぶまれましたが薄曇りに変わり作業日和に！ 朝のミーティングにて作業目的や内容を確認しラジオ体操の後、現場へ移動。

A.B.C.D 班毎に手順の打合せをして早速作業を開始しました。❀❀

■今回は2回目の取り組みで、前回に出来なかった場所や要望された場所の眺望や景観整備、参道の修復に取り組んだ。作業中、郷土史家.NPO 狩留家副理事の貞廣氏談によると「金毘羅大権現(神社)は江戸時代中期舟運が栄え、年貢米、燈油、薪などを広島に運んだ舟の航行の安全を祈願するため、航海の神様「金毘羅神」を三篠川が見渡せる山の上に勧請した(一部郷土史狩留家より抜粋)」とのこと。また、アセビの花が咲く頃には、お弁当を持って花を楽しんでいたとのこともお話もお聞きした。

■そのような場所での作業で、アセビやツバキなど大切にされている木は、伸びた枝葉を剪定

し、透かすように切り揃えた。眺望を遮る杉の高木や桜の成長を妨げる樹木や枯竹は伐採し、棚積も景観を意識して目立たなくした。

■参道は、前回の場所から手前に段差があり、より緩やかな階段を希望された所は枕木を増やすなど工夫し登りやすく改修。併せ、急遽要望された入口付近の道幅の狭い所には、伐採した杉、檜の木を横木に利用して拡幅補修し完成させた。伐採した杉材は玉切り皮むきし椅子に加工し、5脚を神社へ奉納、残る材も2.5m2本を神社横に再利用できるように保存した。

■終了時には、神社前に集合し安全に終わった事を祈念し「二礼

二拍手一礼」で参拝し下山。終礼では、各班ともに、計画通りに作業が終えられ、ケガもないとの報告で安堵。初めて参加された、黒川理事長のお孫さんからも『初めてでしたが楽しく新たな経験ができました。』新会員の大家さんは『伐倒した材を枕木や杭として再利用されている事など、得ることが多々ありました』との声が!!聞かれた。

■最後に、NPO 法人黒川理事長から労いのお言葉を頂き、また、昼食時に地元の食材を使った、汁物をご厚志くださった事にお礼を申し上げて閉会とした。ありがとうございました。

4班 班長 富田 実



参道は歩きやすいよう、より緩やかに。参道横の竹林はきれいに片付け清々しく！ 皆で力を出し合いました。